

## NEWS 01

# 新型路面電車の 走行試験が始まる

積雪寒冷地での走行データを収集

## 今回走行する試験用の新型路面電車

現在走行中 



車両内部に測定器などを搭載してデータを収集→



12月中旬から走行開始 



## お知らせ

- 試験専用車両のため、乗車はできません。
- 実際に導入する車両ではありません。将来導入する車両については、機能やデザインなどを含め、今後検討を行う予定です。

現在、「西4丁目」～「すすきの」停留場間の営業路線を使用して、新型路面電車の走行試験を行っています。この車両は、バッテリーでも走行が可能な、乗り降りしやすい低床仕様のもので、全国に先駆けて開発されたもので、積雪寒冷地での走行実績がないため、札幌で冬の走行データを収集します。

**詳細**

車両課 ☎896 2774

市が、老朽化した車両の更新を考えていたところに、研究機関からの提案があったため、共同で試験を行うことになりました。試験期間は三月中旬まで。市では、今回集めたデータを参考に、将来導入する車両についての検討を進めていきます。

## 特長

### 低床設計

地面から車内の床までの高さが30センチ程度で、高齢の方や体の不自由な方が、乗降しやすいように設計されています。

### 省エネルギー

ブレーキをかける際に発生するエネルギーをバッテリーに蓄えて再利用できるため、通常の車両に比べ、消費電力を約1割抑えられます。

### ハイブリッド型

高性能のバッテリーを搭載し、架線がない線路でも走ることができます。そのため、将来、路線を延長するような場合にも架線設備などが不要です。